



●新主査よりごあいさつ

4月1日より主査を拝命いたしました、山根千明です。よろしくお願いいたします。

私は西洋美術史のうち、20世紀ドイツの芸術学校バウハウスとその周辺の色彩造形を研究しております。例えば、ご存じの方も多い教育玩具・バウハウスの色ゴマの由来と意義など、またご紹介させてください。

さて、本年度の決定済みの企画は以下のとおりです。日程の確定は少し先ですが、どうぞ心算くださいませ。秋の研究会大会とギャラリートークでのご発表を踏み台に、来年6月の色彩学会の発表を目指されるのはいかがでしょう？発表のノウハウは幹事がサポートいたします。

◆11月末：色彩学会「秋の研究会大会」

◆冬（土日）：「ゲーテの色彩教材―『光学論考』（1791年）ワークショップ」（山根・渡邊副主査・吉澤顧問・北畠特別顧問）

◆3月2週目（土日）：ギャラリートーク

その他、ご自身による展示やイベント、あるいはおすすめの商品や教材も、お気軽に通信にてご紹介ください。吉澤前主査が築いてくださった、開かれた有機的な場としての研究会を、一緒に広げてまいりましょう！
(主査：山根千明)

●「JIS ハンドブック色彩」の口絵

私の手許にある日本規格協会から発行された「JIS ハンドブック 61 色彩 2013」の表題をもつ、やや古い1,300ページ余のハンドブックを参照して、色彩がJIS（日本工業規格）の中で、どのように扱われているのかを、色彩教材のレベルで、数回に分けて紹介したいと思う。

巻頭の色刷り口絵に、色立体、色相環、明度スケール、6色相の明度・彩度図。高彩度と低彩度の系統色名一覧。色と分光反射率として、色相の相違、明度の相違、彩度の相違を示すグラフ。マンセル表色系と他の2種類の表色系との三属性の相違を示す色相面グラフ。安全色と安全標識の図。安全色の一般的事項。安全標識の種類とデザイン。蓄光安全標識の例。配管系の識別表示などが紹介されている。

これらの色刷りの資料だけでも、レベルの高い初歩の色彩教材として使える価値があると私は考える。さらに本文の領域には、色彩教材の原点となる宝が溢れている。

色の法律とも言われる「JISの色彩」の起案色彩関係団体の一つに日本色彩学会が位置し、JIS原案作成に尽力された学会の先輩の方々に敬意を捧げたいと思う。(永田泰弘)

●私に詐欺メールが来た

先日、私のパソコンに、国税庁から一通のメールが届いた。

内容は、「私の所得税に1,180円の未納の税金があります。自主的な納付をお願いします。税法に基づき、登録財産や、給与・売掛金などの債権に対し差押処分を実施する可能性がございます。」というもので、公式お問い合わせ先として、国税庁代表電話番号が記載されていた。

そこで、すぐにこの宛先に電話を入れると女性の声で「それは詐欺電話です。対応しないでください」と即座に返事が返ってきたので、私は無視を採用して対応をしなかった。女性の慣れた対応の仕方、頻繁にあることのように感じられた。

詐欺電話や詐欺メールの話は、よく耳にするが、私が受けたのは初めてであったし、こんなメールで詐欺が成功するとは思えないので半信半疑である。

色彩に関連した詐欺というものがあるのだろうか？。例えば、すぐに色落ちする衣料品などはあるかも知れないが、値段との関係も考えられる。色を脇役にした詐欺の実例を、ご存知の方は、ぜひ、原稿として仕上げ、私宛にお送り願いたい。
(永田泰弘)